

令和5年度 技術・家庭科（家庭分野）《第3学年》年間指導計画

担当（高屋美登里）

技術・家庭科 家庭分野 教科の目標

生活の営みに係る見方、考え方を働きかせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

家庭分野の目標

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これから的生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容		評価規準	評価資料
4	わたしたちの成長と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能 ・中学生にとっての家族 ・地域との関り 	【知】	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解できる。 ・家庭内外の仕事について理解できる。 	定期考査 ノート・ワーク・プリント
			【思】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族が担う家庭・家族の機能を考え、生活を工夫できる。 ・自立に向けて自分にできる事を考え工夫できる。 	ノート・ワーク・プリント
			【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児や高齢者など自分と異なる立場の存在に関心をもとうとしている。 ・自分や家族と地域の人々と共に協力・協働する大切さに気付こうとしている。 	ノート・ワーク・プリント 授業記録
5 ～ 9	幼児の生活と遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活と家族 ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児に役立つものの制作 ・幼児の生活と遊び 	【知】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体の発達と心の発達の特徴について理解できる。 ・幼児の一日の生活の特徴について理解できる。 ・幼児の対象に合ったおもちゃの制作を計画通りに製作することができる。 ・幼児の生活習慣と生活習慣を支える家族の役割について理解できる。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解できる。 	定期考査 ノート・ワーク・プリント 製作記録
			【思】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼いころを振り返り・周囲の人との関りの大切さに気付くことができる。 ・幼児が喜ぶ工夫をすることができる。 ・幼児の発達や遊びを踏まえ、ふれあい体験を計画できる。 ・幼児との関わり方を工夫できる。 	ノート・ワーク・プリント 作品
			【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 ・家族の立場から子どもとの関わり方を考え、取り組もうとしている。 	ノート・ワーク・プリント 授業記録 作品
10	家庭生活と地域の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と地域 ・高齢者との関わり ・地域の協働を目指して ・持続可能な家庭生活 	【知】	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が互いの立場や役割を考える大切さに気付くことができる。 ・高齢者の体の特徴について理解できる。 ・地域との協力・協働の大切さに気付くことができる。 	定期考査 ノート・ワーク・プリント
			【思】	<ul style="list-style-type: none"> ・家族関係をよりよくする工夫や、高齢者との関わり方を工夫できる。 ・地域の人々との関わり方を考え工夫できる。 	ノート・ワーク・プリント
			【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりについて関心をもとうとしている。 	ノート・ワーク・プリント 授業記録
11 ～ 3	作品製作	作品製作	【知】	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を製作する知識を得ることができる。 ・製作手順を理解し、技能を身につけることができる。 ・作品製作の注意点を理解することができる。 	定期考査 ノート・ワーク・プリント
			【思】	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で効率よく作品製作をすることができる。 ・作品製作の手順を理解し、自分なりの工夫をすることができる。 	定期考査 ノート・ワーク・プリント 授業記録
			【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に作品製作を行い、丁寧な作業をしようとしている。 ・製作方法、注意点等を理解し、まとめようとしている。 	作品 ノート・ワーク・プリント 授業記録